

議会だより



第137号

平成26年4月25日



志賀保育所入園式(4月5日)

消費税率改正

新年度予算 2P

駅前活性化プラン

一般質問 6P

わが町の漁業・農業

委員会レポート 8P

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai@town.wakayama-hidaka.lg.jp

5%→8%に

消費税率改正の影響は

平成26年度

一般会計 39億3,459万円

特別会計 22億4,719万円

予算総額 61億8,178万円

水道事業会計

収益的収入 2億4,882万円

収益的支出 2億7,589万円

資本的収入 121万円

資本的支出 6,081万円

3月定例会は3月11日から9日間の会期で開催した。町長の施政方針を受けて提案された平成26年度一般会計、特別会計、水道事業会計など議案16件、また平成25年度一般会計・特別会計補正予算など議案6件について、それぞれ慎重審議の結果、原案のとおり可決し19日に閉会した。

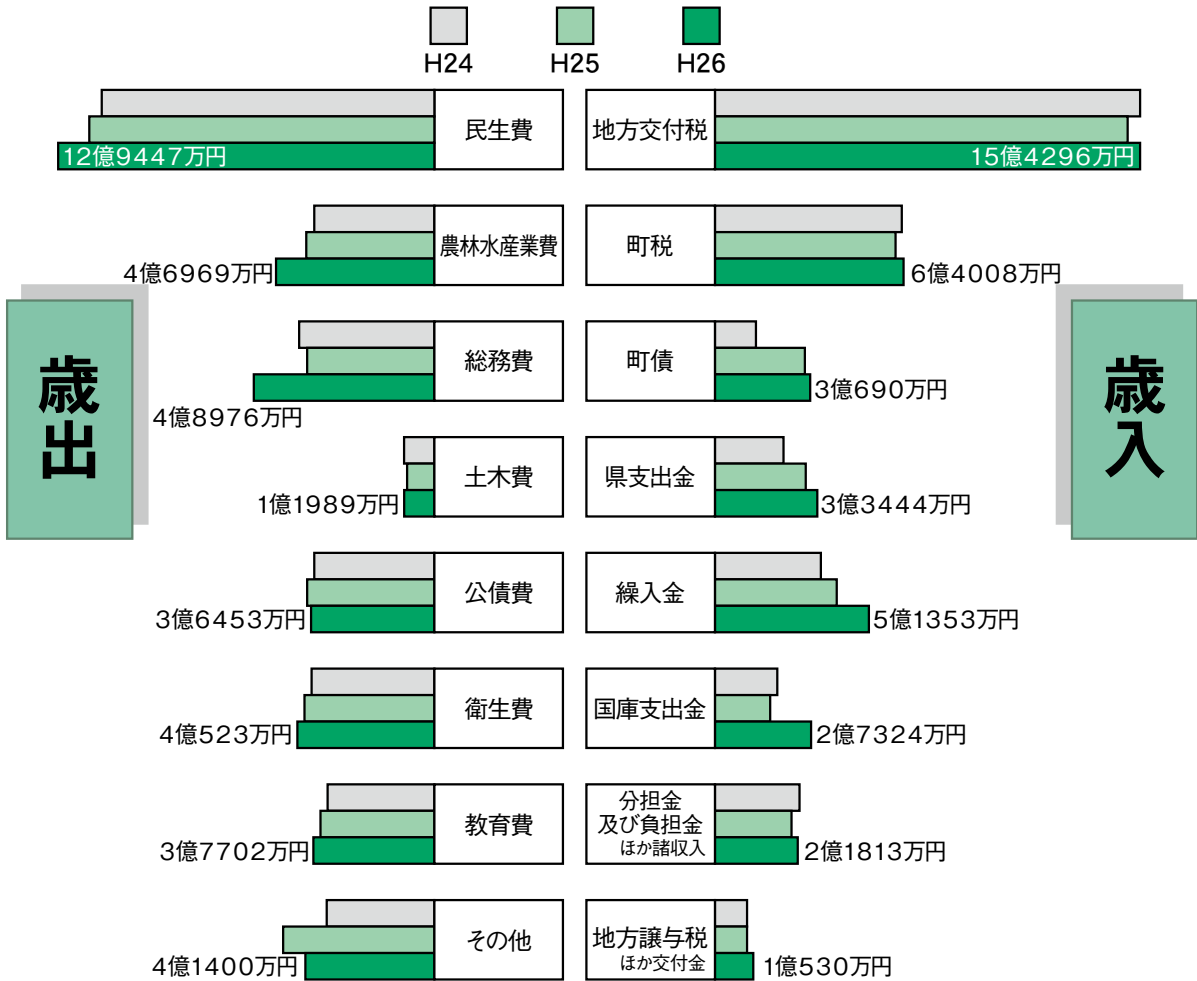
一般会計予算

平成26年度の一般会計の予算は、過去10年で2番目の予算規模となり、前年度比3億5215万円、9.8%増の大幅な増額である。

これは、比井漁村再生交付金事業での避難道路（比井地区）や避難広場（阿尾地区）の整備の他、防災行政無線デジタル化などの防対策、平成27年開催の『紀の国わかやま国体』ホッケー競技のリハーサル大会関係費や練習用グラウンドである若もの広場の改修などが大部分を占めている。

さらに、消費税率の引き上げに伴い創設された臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金などにより、予算規模が大幅な増額となっている。

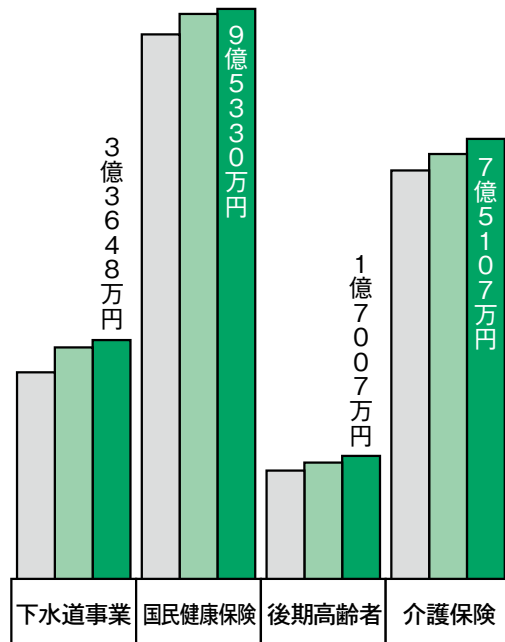
一般会計予算の主な内容



歳出

歳入

特別会計予算の主な内容



訃報



故 中 善 夫 前 町 長

3月定例会最終日に中町長から辞表の提出があり議会はこれに同意したが、その後3月27日に死去されました。謹んで哀悼の意を表します。

一般会計

問 国体実行委員会補助金の詳細を。

教育課長 県の補助もあるが、実際には、対象経費の2分の1とか限度額が決まっており、2千万円余りの中で約300万円の補助を貰う。

問 スポーツ振興くじ助成金1600万5千円の説明を。

教育課長 スポーツ振興くじ助成金は、独立行政法人日本スポーツ振興セ

ンターの補助金で、武道館の畳の全面改修で600万円、若もの広場の防球フェンスの改修工事で1千万5千円、合計1600万5千円の助成である。

問 学童保育、昨年より予算が増えているが。

教育課長 志賀小学校の学童保育設計委託料である。

問 志賀学童保育所の計画は、志賀・比井崎地区を対象に開設するのか。

教育課長 学童保育が設



国体の練習会場となる若もの広場

問 学校給食費について、今回消費税は上がるが値上げしないということだが、10%になっただろうなるのか。

教育課長 美浜・日高・由良3町で共同で学校給食を進めており、消費税が上がるということを検討した結果、メニューの工夫や材料の調達でカバーできるのではないかと今回は見送ったが、今後は様子を見ながら対応し



志賀小に学童保育所を建設

ていきたい。

問 農地利用集積円滑化事業補助金、JAの農地相談員を新たに配置される内容は。

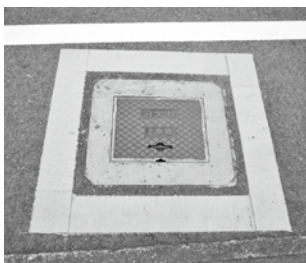
産業建設課長 JAが合併し、新JAにおいて2名の農地相談員を設置し、農地の利用調整等について、一元的にまた、広域的に実施していくものである。

関係市町村、JA、9団体それぞれ負担して行うもので、町農業委員会との情報交換及び週2回程度の巡回相談を予定するもの

している。

問 前年に比べて137万6千円の増額となっている等、消防施設整備、修繕費の説明を。

総務政策課長 今年度より消火栓の周りに黄色のラインを入れる。消火栓で348カ所、防火水槽で33カ所、それと消防車両庫前の駐車禁止等のラインを引き直す。



消火栓に新しいライン

条例改正

日高町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

し尿汲み取り料金を、18リあたり25円値上げするもの

問 し尿汲み取り料値上げの理由説明を。

住民福祉課長 消費税分6円と、燃料の高騰、点在する対象住宅による効率の問題、17年前より料金据え置き等による19円を合わせて、18リあたり25円の値上げとなる。

条例制定

比井崎地区地域交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定

産湯海水浴場海の家の管理についての条例を制定するもの

反対討論

一定の値上げに関しては理解するものの今回の値上げ幅は住民に与える影響が大きいため反対する。

西岡佳奈子議員

25年度一般会計補正予算

規定の予算総額から1176万7千円を減額し、40億6593万8千円とする。

主な内容

子ども・子育て支援制度新システム委託料518万円、日高総合病院負担金1998万1千円、経営体支援事業補助金72万3千円等の増額。

ため池等整備事業費636万7千円、漁村再生交付金事業815万6千円、日高広域消防負担金1011万8千円、内原小学校改修工事851万3千円等の減額。

26年度へ繰り越した主な事業

水道水源開発等施設整備事業740万円（H26年10月末完成予定）
漁村再生交付金事業1256万6千円（H27年3月末完成予定）
避難広場整備事業1995万円（H27年3月末完成予定）

問 経営体育成事業で農業用機械補助72万3千円の説明を。

産業建設部 認定農業者の方で、トラクター1台分241万円であり、補助金は72万3千円、融資は73万、自己資金は95万7千円である。

問 申請に関しての説明を。

産業建設部 認定農業者若しくは新規就業者の方がその資格がある。
幾つかの条件を満たして国の方に申請をする。



機械購入補助で農家の経営を応援

条例改正

消費税率改正に伴い
変更される主な使用料

- ・水道使用料金
- ・農村環境改善センター使用料
- ・住民公園使用料
- ・保健福祉総合センター使用料
- ・学校施設使用料
- ・公民館施設使用料
- ・通園バス使用料
- ・下水道使用料

全国町村議会議長会より表彰

山本源昭議員が、議員として27年以上在職しての功績に対して表彰された。



山本 源昭 氏

臨時議会

2月19日臨時議会が開会され、萩原跨線橋補修工事の委託契約（協定）変更について提案され、可決した。

工事委託契約の変更

萩原跨線橋補修工事
4895万9千円
(1563万5千円の減額)

野田善啓議長、西岡佳奈子副議長が15年以上在職しての功績に対して表彰された。



野田 善啓 氏



西岡 佳奈子 氏

未来をきずく

Q & A いっぽん質問



紀伊内原駅舎とトイレ

副町長 駅舎周辺を整備する 駅前活性化プラン作りを

榮 茂美 議員

問 昨年3月、JR西日本が内原駅構内に自動券売機を設置したのを機に、近い将来、駅は無人工化し駅トイレが閉鎖される懸念があったが、その後どうなっているのか。

副町長 JR西日本和歌山支社との協議で、平成26年度に県の補助事業で、内原駅トイレの改修工事を進める。

問 駅舎を人々が集える

憩いの場としての有効活用を、どのように考えているのか。

副町長 駅トイレ改修に併せ、駅舎の無償譲渡、耐震調査及び駅舎周辺を総合的に整備計画する駅舎活用基本計画を策定する。

問 来年は「わかやま国体」開催で、全国から当町に来客があり、日高町の注目度を高める絶好のチャンスである。

副町長 今後、内原駅舎を「町の発信基地」にすればどうか。

総務政策課長 内原駅を地域に親しまれる活動の場として、今回の駅舎活用基本計画の策定を行うものである。

問 策定業務は業者委託になると思いますが、駅舎活



談しながら、検討していきたい。

問 駅舎及び周辺の整備計画だけでなく、駅前活性化プラン、ひいては町活性化プランへと連動させるべきだと思いが。

副町長 提案されている「駅・産湯海水浴場・温泉館の3拠点を結ぶプラン」は、今後の検討課題としたい。

風疹ワクチン接種の啓発を

問 風疹ワクチン接種緊急助成事業は、平成25年度限りか。

副町長 平成26年度も引き続き行う。

問 事業当初の町内の接種見込数と、現在までの申請者数は。

副町長 昨年の6月議会では473人分を予算計上したが、今年2月末日で84人の申請者となっている。

問 対象者数に対して、申請者数が少ない。

平成26年度の継続事業となったが、これから先の接種率の動向をどう見るか。

健康推進課長 何年も助成事業が続くとは思わないので、対象者はできるだけ接種して欲しい。

問 今後、どう啓発していくのか。

健康推進課長 更なる広報に努めていく。

他の一般質問
「日高町の農業振興策」



西岡 佳奈子 議員

教職員の勤務実態、どう認識 教育長 多忙感が日常化

問 学校現場の多忙化について、和歌山県教職員組合の2012年調査では、教職員の残業が平均一日2時間20分、1ヵ月69時間32分、休日・持ち帰りも含めると91時間13分となっている。

教職員の多忙化は健康面などへの悪影響とともに、児童・生徒にとっても決して良い影響があるとは思えない。

勤務実態をどのように把握、認識されているか。課題や解決方法など、どう考えるか。

教育長 平成25年度に日高地方教育長会が実施主体として、生活アンケートを実施した。

教職員の業務が増加し、勤務時間終了後もほぼ毎日学校に残り執務する教職員が多く、職務を果たすために教職員が感じる多忙感は日常化している状況にあると認識している。

教育委員会として教職員の心身の健康保持と勤務負担の軽減を図り、各校の教育活動が充実するよう学校と連携した取り

組みを推進していきたい。

問 調査では、「仕事にやりがい」を、「とても感じる」と「割と感じる」を合わせると77・1%となっている。

一方で、「仕事に追われ、生活にゆとりがない」と、「とても感じる」と「割と感じる」を合わせて74・3%となっている。

そういう学校現場の状況を、教育委員会として

デジタル変換終了

問 テレビ放送完全デジタル化にあわせて、ケーブルテレビ各社においてアナログ変換がおこなわれている。

この変換は来年3月末までの暫定措置だが、期間延長の可能性は。

また、町民への周知を。

副町長 ZTVから予定通り来年3月末に終了

どのように支えていけるかについて、常に検討していったきたい。

教育長 教職員一人ひとりがやりがい感を持って取り組んでほしいと願っている。

そういう中で、一人ひとりを支えていくために学校との連携を密にした取り組みをすすめていきたい。

すると通知があり、期間延長の可能性はない。

1年後の終了に向け広報等で周知していきたい。



現在ケーブルテレビではアナログテレビで地デジ放送を視聴できる

感震ブレーカー普及への取り組みを

問 感震ブレーカーは設定値以上の震度の地震発生時に自動的に電気の供給を遮断するものである。各家庭に設置することで出火を防止するなど被害を軽減できる。

十分な情報収集をした上で、普及にむけた取り組みを。

副町長 感震ブレーカーの種類は、分電盤で電気を止めるもの、コンセントに設置するもの、ブレーカースイッチにおもりものなどがあり、数千円から10万円程度のもので様々である。

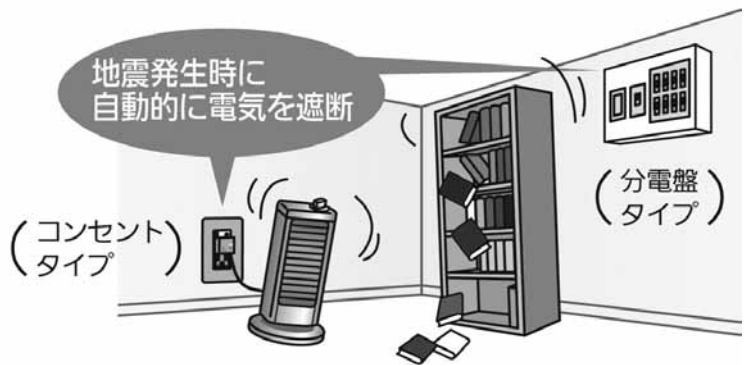
通電火災に対して一定の予防効果が期待でき、被害軽減の有効な方策の一つであり、広報・啓発していきたい。

地震発生時に自動的に電気を遮断

(コンセントタイプ)

(分電盤タイプ)

通電火災を予防する感震ブレーカー



委員会レポート

産業教育常任委員会

わが町の 漁業・農業は

委員会は1月31日に漁業・農業の現状と今後について漁業・農業センサス等を参考資料として担当課より説明を聞き調査

研究をした。

漁業では経営体数・漁業就業者数は約3分の1に減少、漁獲量は約6分の1に減少、売上高は約7分の1に減少している。獲れない、単価が上がらない、消費してもらえない等環境は相当厳しい状況である。町としては放流事業など単費で行っているが、

新たな漁業振興策として「ひじきの養殖」について環境調査を県に申請中と聞いた。

今後も漁協とタイアップし、協力できる範囲の中で支援をしていく。

農業では漁業と同様、農家戸数は約2分の1に減少、従事者数は約3分の1に減少、耕作面積は約2分の1に減少などとなっている。

農業に関してはTPPの問題等、国の施策を見極めながら検討していく。平成25年度に遊休農地になる可能性の場所を事前対策を講じるという意味においてJAに補助金を出し、現時点では約2.7ヘクタール契約済及びび契約予定である。

加えて遊休農地となっているところも解消に向けた取り組みにもなる。引き続きの問い合わせもあり期待している。

今後も農家の方々にも知らせながらJA・農業委員会とも連携しながら結果を出していきたいと説明を受けた。



遊休農地解消を

内原小学校 改修工事完成

委員会は3月18日に改修工事完了に伴い、現場を視察した。

内原小学校校舎の外壁改修、床改修及び屋上防

水工事、又体育館と本校舎の間に、仮設校舎として、工事期間中に職員室として使用し、改修後に会議室として使用する仮設教室を建築。

本校舎北側に2階建ての便所棟の増設を施工するものである。

工事関係費で2億586万円である。

学校関係者から話を聞くとプレハブ教室を臨時に設置するなどの事があ



建設された2階建ての便所棟

編集後記

3月27日、中町長がお亡くなりになりました。

3月議会開会日と閉会日に、中町長から議会に宛てたメッセージをいただき、誰もが一日も早い回復を願いつつ議会を終えた直後の計報でした。

議場での町長は、議員の一言一句を聞き漏らすまいと前を向き、考え方が相反する時にも真摯に答弁される方でした。心からのご冥福をお祈り申し上げます。

西岡 佳奈子

